

VMWare vCloud Hybrid Service への オフラインデータ転送

vCloud Connector 2.6.0

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-001335-00

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2013, 2014 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

VMware vCloud Hybrid Service へのオフライン データ転送	5
1 プライベート データセンターから vCloud Hybrid Service へのデータ転送	7
概要	7
オフライン データ転送プロセス	8
オフライン データ転送の準備	9
vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードを vCloud Connector サーバに登録する	9
外部ストレージ デバイスの vCloud Connector ノードへのマウント	11
外部ストレージ デバイスへのデータのエクスポート	12
ストレージ デバイスのアンマウント	15
2 複数のクラウドからのデータのエクスポート	17
3 インポートしたデータを 確認して ODT ノードの登録を解除する	19
インデックス	21

VMware vCloud Hybrid Service へのオフライン データ転送

『VMware vCloud Hybrid Service へのオフライン データ転送』ドキュメントには、VMware vCloud Connector™ を使用してデータを VMware vCloud Hybrid Service™ に移行する方法が記載されています。

この機能を使用するには、vCloud Hybrid Service アカウントが必要です。アカウントの取得方法については、vCloud Hybrid Service のドキュメントを参照してください。

対象読者

この情報は、vCloud Connector を使用して、プライベートのエンタープライズ データセンターから vCloud Hybrid Service にデータを移行する必要があるユーザーを対象としています。この情報は、VMware vCenter Server™、VMware vSphere Client™、および VMware vCloud Director など、VMware 仮想製品およびテクノロジーをよく理解している管理者向けに書かれたものです。

プライベート データセンターから vCloud Hybrid Service へのデータ転送

1

VMware vCloud® Connector™ オフライン データ転送機能を使用すると、プライベート vSphere または vCloud Director ベースのデータセンターから VMware vCloud® Hybrid Service™ に大量のデータを移行できます。

この機能を使用するには、vCloud Hybrid Service アカウントが必要です。アカウントの取得方法については、vCloud Hybrid Service のドキュメントを参照してください。

この章では次のトピックについて説明します。

- [概要 \(P. 7\)](#)
- [オフライン データ転送プロセス \(P. 8\)](#)
- [オフライン データ転送の準備 \(P. 9\)](#)
- [vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードを vCloud Connector サーバに登録する \(P. 9\)](#)
- [外部ストレージ デバイスの vCloud Connector ノードへのマウント \(P. 11\)](#)
- [外部ストレージ デバイスへのデータのエクスポート \(P. 12\)](#)
- [ストレージ デバイスのアンマウント \(P. 15\)](#)

概要

vCloud Connector のオフライン データ転送機能により、多数の仮想マシン、vApp、およびテンプレートをプライベート データセンターから VMware vCloud Hybrid Service に安全に移行できます。vSphere または vCloud Director ベースのデータセンターから転送できます。

vCloud Connector から vCloud Hybrid Service オペレータが提供する外部ストレージ デバイスにデータをエクスポートし、オペレータにデータを戻すことができます。オペレータはデータを vCloud Hybrid Service にインポートします。vCloud Connector はデバイスにデータを書き込む前にデータを暗号化し、セキュアな転送を保証します。

エクスポート中、vCloud Hybrid Service で、使用可能なネットワークの中から仮想マシンおよび vApp のためのネットワークを選択できます。すべての仮想マシンと vApp は vCloud Director ベースのクラウドにまず vApp テンプレートとしてコピーされるため、テンプレートから仮想マシンおよび vApp をデプロイするかどうか、デプロイ後にターゲットカタログ内にテンプレートを保持するかどうかを選択できます。デプロイ後に仮想マシンおよび vApp をパワーオンするかどうかも指定できます。これらのオプションを個別に設定することも、エクスポートされるすべてのアイテムに適用することもできます。

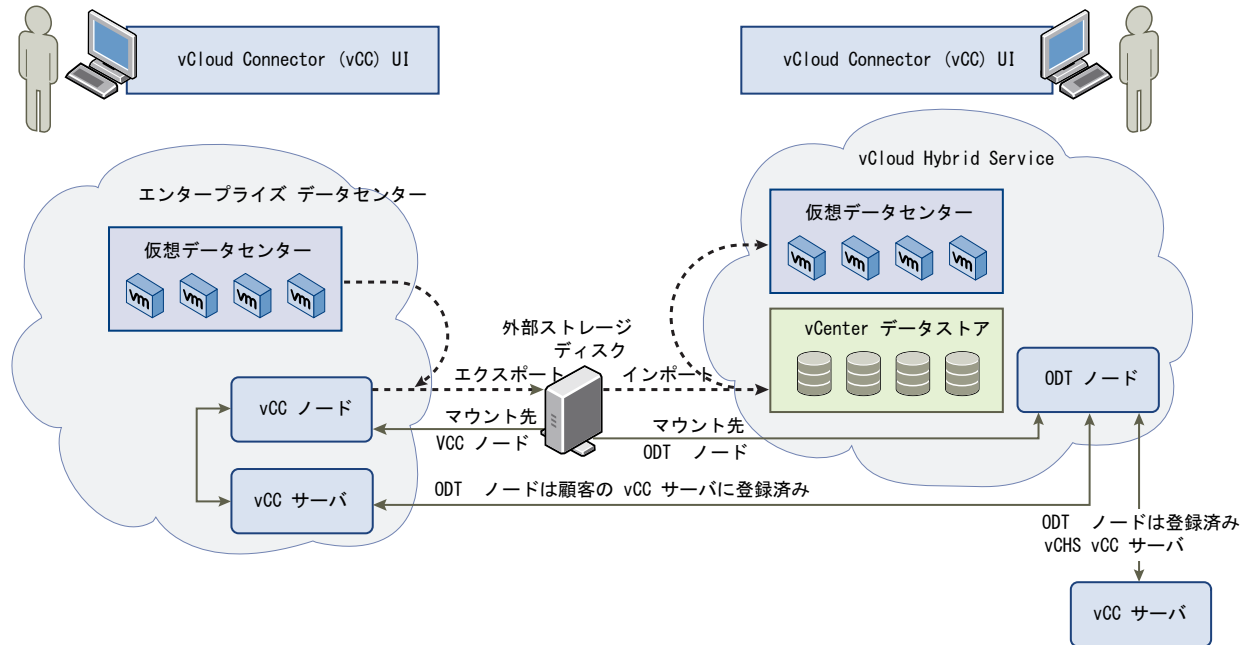
vCloud Hybrid Service オペレータは vCloud Connector を使用して vCloud Hybrid Service に関連付けられた vCenter Server データストアにインポートします。vCloud Connector はデータのアップロード、復号化、および vCloud Hybrid Service データセンターへの移動を行います。その後、vCloud Connector が、ユーザーがエクスポート中に指定したネットワーク、パワー、およびデプロイ設定を適用します。

このデータ転送プロセスは、vCloud Hybrid Service でデプロイされるオフライン データ転送 (ODT) ノードを通常の方法で使用することにより有効化され、エクスポート中のユーザー、インポート中の vCloud Hybrid Service オペレータの両方によって使用されます。vCloud Hybrid Service オペレータは ODT ノードをデプロイし、ノード URL をユーザーに送信します。ユーザーと vCloud Hybrid Service オペレータの両者が、異なる組織と認証情報を使用して vCloud Connector サーバに ODT ノードを登録します。

vCloud Connector インスタンスは、エクスポート中に ODT ノードにアクセスし、インポート中に使用される暗号化情報を ODT ノードに格納します。

オフライン データ転送プロセス

図 1-1. vCloud Hybrid Service へのデータのエクスポート



- 1 vCloud Hybrid Service アカウントからデータ転送要求を開始します。
- 2 要求に応じて、vCloud Hybrid Service オペレータが、vCloud Hybrid Service 環境にオフラインデータ転送 (ODT) ノードをデプロイします。
- 3 vCloud Hybrid Service オペレータから ODT ノードの URL が送られてきます。
- 4 vCloud Hybrid Service オペレータが外部ストレージ デバイスを発送します。
- 5 vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードを、自分のプライベート データセンターに配置されている vCloud Connector サーバに登録します。
- 6 自分のプライベート データセンターに関連付けられた vCloud Connector ノードにストレージ デバイスをマウントします。
- 7 vCloud Connector UI を使用してデータをエクスポートします。
 - vCloud Connector がデータセンターからストレージ デバイスにデータを転送します。転送時のセキュリティ保護のため、データは暗号化されます。
 - vCloud Connector が vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードと通信して、後でインポートする際に使用する情報を格納します。
- 8 ストレージ デバイスを vCloud Hybrid Service オペレータに返送します。
- 9 vCloud Hybrid Service オペレータが、vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードにストレージ デバイスをマウントします。

- 10 vCloud Hybrid Service オペレータが vCloud Connector UI を使用してデータをインポートします。
- 11 vCloud Connector が、ストレージ デバイスから vCloud Hybrid Service に関連付けられた vCenter Server データストアにデータを転送し、復号化し、データセンターにアップロードします。
- 12 インポート処理が完了すると、vCloud Hybrid Service オペレータから通知があります。
- 13 vCloud Hybrid Service アカウントにログインして、データが期待どおりに転送されていることを確認します。
- 14 vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードを vCloud Connector サーバから登録解除します。

オフライン データ転送の準備

プライベート vSphere または vCloud Director ベースのデータセンターから vCloud Hybrid Service にデータを転送するには、お使いのデータセンターに vCloud Connector をまだインストールしていない場合はインストールする必要があります。また、vCloud Hybrid Service アカウントから、オフライン データ転送を要求します。

手順

- 1 プライベート データセンター内に、vCloud Connector サーバおよび vCloud Connector ノードをまだインストールしていない場合はインストールします。

これにより、データをデータセンターからエクスポートできます。

複数の vSphere または vCloud Director クラウドからデータをエクスポートする場合、各クラウドに vCloud Connector ノードをインストールします。

インストール手順の詳細については、[『vCloud Connector インストールおよび構成』](#) を参照してください。

- 2 vCloud Connector UI に vSphere Client からログインし、データのエクスポート元とするクラウドを UI に追加します。

詳細については、「[クラウドの vCloud Connector への追加](#)」を『vCloud Connector の使用』から参照してください。

- 3 vCloud Hybrid Service アカウントから、オフライン データ転送を要求を開始します。

vCloud Hybrid Service アカウントの取得方法およびオフライン データ転送の要求方法の詳細については、vCloud Hybrid Service のドキュメントを参照してください。

- 4 カタログを vCloud Hybrid Service クラウドに追加します。

詳細については、「[カタログの vCloud Connector への追加](#)」を『vCloud Connector インストールおよび構成』から参照してください。

vCloud Hybrid Service オペレータがデータ転送用に vCloud Hybrid Service 環境を準備し、ストレージ デバイスおよび ODT (Offline Data Transfer) ノード URL を送信します。

次に進む前に

このストレージ デバイスおよび ODT ノード URL を vCloud Hybrid Service オペレータから受け取るのを待って、ODT ノード URL をお使いの vCloud Connector サーバに登録します。

vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードを vCloud Connector サーバに登録する

データをエクスポートできるようにするには、vCloud Hybrid Service にデプロイされたオフライン データ転送 (ODT) ノードをプライベート データセンターの vCloud Connector サーバに登録する必要があります。

vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った ODT ノードの URL を使用して、ODT ノードに登録します。URL にポート番号が含まれる場合は、ポート番号を必ず指定してください。

開始する前に


- vCloud Hybrid Service にデプロイされた ODT ノードの URL を受け取っていること。
- vCloud Connector をインストールしていること。

手順

- 1 vCloud Connector サーバの管理者 Web コンソール (https://<vCCServer_IPAddress>:5480) に移動します。
- 2 **admin** としてログインします。
デフォルトのパスワードは **vmware** です。
- 3 [ノード] タブをクリックして、[ノードの登録] をクリックします。
- 4 vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った URL と、独自の vCloud Hybrid Service 認証情報を使用して、ODT ノードを登録します。

ノード情報のオプション	説明
名前	ODT ノードの名前。ノードは、サーバの管理者 Web コンソールの [ノードの管理] ページにこの名前で表示されます。
説明	(省略可能) ODT ノードの説明。
URL	vCloud Hybrid Service オペレータから取得した ODT ノードの URL。URL には、ノードの IP アドレス、またはノードの完全修飾ドメイン名 (FQDN) が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ https://<vCCNodeIPAddress> 例: https://10.10.100.10 ■ https://<vCCNodeFQDN> 例: https://node1.company.com 注意 vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った ODT ノードの URL にポート番号が含まれる場合、ポート番号を必ず指定してください。
パブリック	このオプションを選択します。
プロキシを使用する	vCloud Connector サーバが vCloud Hybrid Service の ODT ノードに到達するのにプロキシを使用する必要がある場合、このオプションを選択します。 プロキシを使用する場合は、[ネットワーク - プロキシ] タブでプロキシ設定も指定する必要があります。
SSL 証明書を無視する	vCloud Hybrid Service 内の ODT ノードには SSL が有効になっており、DigiCert からの証明書がインストールされています。証明書を使用するには、「DigiCert High Assurance CA-3」中間証明書を vCloud Connector サーバの信頼されるキーストアに追加する必要があります。詳細については、「vCloud Connector のインストールと構成」の「信頼されるキーストアへの CA ルート証明書の追加」を参照してください。 中間証明書を vCloud Connector サーバの信頼されるキーストアに追加してある場合は、このオプションを選択解除します。証明書を追加していない場合は、このオプションを選択します。
クラウド情報のオプション	説明
クラウド タイプ	[vCloud Director] を選択します。
vCD 組織名	vCloud Hybrid Service 内の仮想データセンターの名前を指定します。
ユーザー名	vCloud Hybrid Service のユーザー名。
パスワード	vCloud Hybrid Service のパスワード。

- 5 [登録] をクリックします。

ODT ノードが vCloud Connector サーバに登録されました。[エクスポート] アイコン () が vCloud Connector UI 内で有効になります。これを使用して、データをエクスポートできます。

注意 ODT ノードを使用してクラウドを vCloud Connector UI に追加することはできません。ODT ノードは、オフライン データ転送でのみ使用されることを目的としています。

次に進む前に

外部ストレージ デバイスをプライベート データセンターに関連付けられている vCloud Connector ノードにマウントします。

外部ストレージ デバイスの vCloud Connector ノードへのマウント

vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った NAS ストレージ デバイスを、お使いのプライベート データセンター内の vCloud Connector ノードに接続してマウントします。

スイッチへのストレージ デバイスの接続

NAS ストレージ デバイスを、vSphere 環境との接続を提供するネットワーク スイッチのポートに接続します。

次のガイドラインにしたがってください。

- 必ずデバイス付属の電源ケーブルを使用してください。
- 水の近くでデバイスを使用しないでください。デバイス上に液体をこぼさないでください。
- デバイスを不安定な面に設置しないでください。
- デバイスをラジエーターやヒート レジスタの近くまたは上に設置しないでください。
- デバイスの前後に十分な通気路 (最低 6 インチ以上) を確保してください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。

手順

- 1 付属のイーサネット ケーブルをデバイスの背面のイーサネット ポート 1、および vSphere 環境との接続を提供するネットワーク スイッチのポートに接続します。
- 2 付属の電源ケーブルをデバイスとコンセントに接続します。



次に進む前に

ストレージ デバイスを、プライベート データセンターに関連付けられた vCloud Connector ノードにマウントします。

ストレージ デバイスの vCloud Connector ノードへのマウント

データのエクスポート元のクラウドに関連付けられた vCloud Connector ノードにストレージ デバイスをマウントします。

開始する前に

NAS ストレージ デバイスの前面にある IP アドレスを読み取ります。

手順

- 1 SSH を使用して vCloud Connector ノードにログインします。
admin としてログインします。デフォルトのパスワードは **vmware** です。
- 2 ルートに変更します。
su
 デフォルトのパスワードは **vmware** です。
- 3 デバイスをマウントするディレクトリを作成します。例: **/data/ODT**。
mkdir /data/ODT
- 4 デバイスをマウントします。
mount -t nfs <NASdeviceIP>:/nfs/ODT <directoryPath>
 例:
mount -t nfs <NASdeviceIP>:/nfs/ODT /data/ODT
- 5 デバイスがマウントされたことを確認します。
df -h

外部ストレージ デバイスへのデータのエクスポート

仮想マシン、vApp、およびテンプレートをプライベート データセンターから外部ストレージ デバイスにエクスポートします。セキュアな転送を確保するため、データはデバイスに書き込む前に暗号化されます。

上記の操作が済んでいれば、データを vSphere または vCloud Director クラウドからエクスポートできます。

エクスポート中、デプロイ、ネットワーク、電源設定を vCloud Hybrid Service クラウド内の仮想マシンおよび vApp に対して指定します。これらの設定は、エクスポート対象の個別のオブジェクトまたはすべてのオブジェクトについて指定できます。

vCloud Connector によって、エクスポートされる各オブジェクトに固有の番号が付けられます。これにより、名前の競合が回避されます。オブジェクトが vCloud Hybrid Service にインポートされるときは、オブジェクトはこれらの固有の名前で表示されます。たとえば、**myVM** をエクスポートするときに、vCloud Hybrid Service 内では **myVM_123456** と表示されます。vCloud Hybrid Service 内でオブジェクト名を変更することもできます。

データをエクスポートするには、次のガイドラインに従ってください。

- エクスポートのために選択するすべてのオブジェクトは、パワーオフ状態である必要があります。
- vCloud Director クラウドからは、vApp のみをエクスポートできます。個別の仮想マシンをエクスポートすることはできません。
- エクスポートするデータ タイプは、仮想マシン、vApp、テンプレートのうちの 1 種類のみを選択できます。たとえば、仮想マシンと vApp の両方を一度にエクスポートすることはできません。異なるタイプのデータをエクスポートするには、1 種類のデータをまずエクスポートし、次にエクスポート ウィザードを再度使用してもう 1 種類のデータをエクスポートします。

- すべての仮想マシン、vApp、およびテンプレートは、vApp テンプレートとして vCloud Hybrid Service に転送されます。エクスポート中、エクスポート後にオブジェクトをデプロイするためのデプロイ オプションを選択できます。オブジェクトをデプロイすることを選択した場合、そのテンプレートはデプロイ後に削除されます。テンプレートが削除されないようにするには、エクスポート中に [カタログの保持] オプションを選択します。
- オブジェクトをディスクに再エクスポートすると、オブジェクトが重複して作成されます。前にエクスポートしたオブジェクトは上書きされません。
- データは複数のソース クラウドからエクスポートできます。詳細については、[第 2 章「複数のクラウドからのデータのエクスポート \(P. 17\)」](#) を参照してください。


開始する前に

- vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った外部ストレージ デバイスを、お使いのプライベート データセンターと関連付けられた vCloud Connector ノードにマウントします。
- vCloud Hybrid Service オペレータから受け取ったノード URL を使用し、お使いの vCloud Connector サーバに、vCloud Hybrid Service 内にデプロイされた ODT (Offline Data Transfer) ノードを登録します。
- vSphere Client から vCloud Connector を開始します。

手順


- 1 [ブラウザ] パネル内で [クラウド] ツリーをデプロイし、データの転送元とするクラウドを選択します。
- 2 転送するデータ タイプに基づき、[テンプレート]、[vApp]、または [仮想マシン] タブをクリックします。
- 3 エクスポートする仮想マシンまたは vApp をパワーオフします。これにはオブジェクトを選択し、[パワーオフ] アイコンをクリックします。
- 4 エクスポートする仮想マシン、vApp、またはテンプレートを選択します。

複数のオブジェクトを選択するには、PC の [CTRL] キーまたは Mac の [CMD] キーを押しながらオブジェクトを選択します。

[エクスポート] アイコン () は、選択したすべてのオブジェクトがパワーオフ状態の場合にのみ、有効になります。

[エクスポート] アイコンは、vCloud Director クラウド内で仮想マシンを選択した場合は無効になります。vCloud Director クラウドからは、vApp のみをエクスポートできます。

選択する複数のオブジェクトは、同じタイプである必要があります。つまり、すべてが仮想マシン、vApp、テンプレートのいずれかである必要があります。異なるタイプのデータをエクスポートするには、1 種類のデータをまずエクスポートし、次に [エクスポート] ウィザードを再度使用してもう 1 種類のデータをエクスポートします。

- 5 [エクスポート] アイコン () を [インベントリ] パネル最上部からクリックします。
- 6 エクスポート ウィザード内で外部ストレージ デバイスのマウント パスを入力し、[次へ] をクリックします。
書き込み権限がある有効なパスを指定する必要があります。
- 7 vCloud Director クラウドから vApp をエクスポートする場合、一時 vApp テンプレートを格納するソース クラウド内のカタログを指定します。

vCloud Connector は、vCloud Director からの vApp のエクスポート中、一時 vApp テンプレートを作成する必要があります。データのエクスポート後、このテンプレートは削除されます。

注意 vSphere からデータをエクスポートする場合、または vCloud Director カタログからテンプレートをエクスポートする場合、ソース クラウドに対する [カタログの選択] ページは表示されません。

- 8 [クラウドの詳細] ページで、データの転送先とする vCloud Hybrid Service クラウドに関する情報を指定します。

オプション	説明
クラウド URL	vCloud Hybrid Service クラウドの基盤である vCloud Director インスタンスの URL。この URL を入手するには、次の操作を実行します。 a vCloud Hybrid Service ポータルにログインします。 b データの転送先とする仮想データセンターをクリックします。 c [関連リンク] の下の [vCloud Director URL] をクリックします。 d この URL をコピーしてこのフィールドに貼り付けます。
VDC 組織名	vCloud Hybrid Service 内の仮想データセンターの名前。
クラウド ユーザー名	vCloud Hybrid Service のユーザー名。
クラウド パスワード	vCloud Hybrid Service のパスワード。
ノード URL	vCloud Hybrid Service オペレータから受け取った ODT ノード URL。

- 9 [Next] をクリックします。

クラウドの詳細が有効でない場合、エラーが表示されます。

- 10 データの転送先とする仮想データセンターを選択します。

vCloud Hybrid Service 内のすべての仮想データセンターが表示されます。

- 11 データの格納先とするカタログを選択します。

選択した仮想データセンター内のすべてのカタログがリストされます。

注意 仮想マシン、vApp、およびテンプレートは、常に vApp テンプレートとして vCloud Hybrid Service にコピーされます。

- 12 [Next] をクリックします。

- 13 ターゲット クラウド内の仮想マシン、vApp、またはテンプレートに対するデプロイ オプションを指定します。

- 個々のオブジェクトに対してデプロイ オプションを指定するには、オブジェクトをテーブル内で選択します。

<input type="checkbox"/>	Name	Keep Catalog	Deploy	Power state after deploy	Network
<input type="checkbox"/>	vmA	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Power Off	Select target network
<input type="checkbox"/>	vmB	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Power Off	Select target network

- a 各オブジェクトに対し、[カタログの保持]、[デプロイ]、[デプロイ後の電源状態]、[ネットワーク] の各列で選択肢を指定します。

注意 他のオプションが有効になるには、[デプロイ] を先に選択する必要があります。

- 複数のオブジェクトに対してデプロイ オプションを指定するには、オブジェクトをテーブルのフィールド内で選択します。

Deploy:	<input checked="" type="checkbox"/>	
Power state after deploy:	Power Off	Apply to selected row(s)
Network:	Select target network	

- a テーブル内のすべて、または複数の行を選択します。
- b テーブルの一連のフィールド内で、[デプロイ] を選択します。
- c [デプロイ後の電源状態] フィールド内で、選択したすべてのオブジェクトに対する電源状態を選択します。
- d [ネットワーク] フィールド内で、選択したすべてのオブジェクトに対するネットワークを選択します。

- e [選択した行に適用] をクリックします。

選択内容が、選択した行に適用されます。テーブル内のすべての設定は、個別に変更できます。

オプション	説明
デプロイ	このオプションは、ターゲット クラウド内で仮想マシンまたは vApp を vApp テンプレートからデプロイする場合に選択します。
デプロイ後の電源状態	ターゲット クラウド内での仮想マシンまたは vApp のデプロイ後、これらをパワーオンするには [パワーオン] を選択します。パワーオフするには [パワーオフ] を選択します。
カタログの保持	このオプションは、仮想マシンまたは vApp のデプロイ後に、vApp テンプレートをカタログ内に残す場合に選択します。このオプションを選択しないと、オブジェクトのデプロイ後にテンプレートは削除されます。 注意 仮想マシン、vApp、およびテンプレートは、常に vApp テンプレートとしてターゲット vCloud Director ベースのクラウドにコピーされます。これらの vApp テンプレートは、前のページで選択したカタログにアップロードされます。
ネットワーク	ターゲット クラウド内のオブジェクトを接続するネットワークを選択します。ターゲット クラウド内のすべての使用可能なネットワークがリストされます。

- 14 [Next] をクリックします。
- 15 [完了確認] ページで設定を確認し、[終了] をクリックします。
- 16 エクスポートの進行状況は、[タスク] パネルで監視できます。

エクスポートされる各アイテムにつき 1 つのタスクがあります。タスクをクリックして詳細を表示できます。

vCloud Connector によって、仮想マシン、vApp、またはテンプレートが、指定したマウントパスにある外部ストレージ デバイスにコピーされます。データはデバイスに書き込まれる前に暗号化され、固有の暗号化キーが生成されます。

vCloud Connector は、エクスポート処理中に vCloud Hybrid Service 内の ODT ノードとも通信し、ODT ノード内に情報を格納します。この情報は、データを復号化し、vCloud Hybrid Service 内にデータをインポートするために使用されます。

次に進む前に

データがストレージ デバイスに正常にエクスポートされたら、そのデバイスを vCloud Connector ノードからアンマウントし、vCloud Hybrid Service オペレータに返却します。

ストレージ デバイスのアンマウント

データをストレージ デバイスにエクスポートしたら、そのデバイスを vCloud Connector ノードからアンマウントします。

手順

- 1 vCloud Connector ノードに **admin** としてログインします。

デフォルトのパスワードは **vmware** です。

- 2 ストレージ デバイスをアンマウントします。

umount <mountPath>

たとえば、**umount /data/odt** とします。

- 3 ストレージ デバイスをパワーオフし、接続を切断します。

次に進む前に

提供された返却用のラベルを使用し、デバイスを vCloud Hybrid Service オペレータに返却します。

複数のクラウドからのデータのエクスポート

2

オフライン データ転送用のストレージ デバイスに複数のクラウドからデータをエクスポートできます。データのエクスポート元の各クラウドに vCloud Connector ノードが関連付けられている必要があります。

手順

- 1 データのエクスポート元の最初のクラウドに関連付けられた vCloud Connector ノードにストレージ デバイスを接続してマウントします。

詳細については、[「外部ストレージ デバイスの vCloud Connector ノードへのマウント \(P. 11\)」](#) を参照してください。
- 2 クラウドからエクスポートする仮想マシン、vApp、またはテンプレートを選択し、エクスポート ウィザードを使用してデータをストレージ デバイ스에クスポートします。

詳細については、[「外部ストレージ デバイスへのデータのエクスポート \(P. 12\)」](#) を参照してください。
- 3 vCloud Connector ノードからデバイスをアンマウントして取り外します。
- 4 データのエクスポート元の次のクラウドに関連付けられた vCloud Connector ノードにデバイスを接続してマウントします。エクスポートする仮想マシン、vApp、またはテンプレートを選択し、エクスポート ウィザードを使用してデータをストレージ デバイ스에クスポートします。
- 5 すべてのクラウドからデータをエクスポートしたら、ストレージ デバイスを vCloud Hybrid Service オペレータに返送します。

インポートしたデータを確認して ODT ノードの登録を解除する

3

vCloud Hybrid Service オペレータから、データが vCloud Hybrid Service にインポートされたことを示す通知を受け取ったら、vCloud Hybrid Service ポータルにログインし、データが正常にインポートされたことを確認します。

インポートしたすべてのオブジェクトの名前には、一意の番号が付加されています。オブジェクトの名前は変更できません。

手順

- 1 vCloud Hybrid Service ポータルにログインします。
- 2 エクスポートしたデータが、vCloud Hybrid Service に期待どおりにインポートされたことを確認します。
- 3 データ転送が完了したことを vCloud Hybrid Service オペレータに通知します。
- 4 vCloud Hybrid Service にデプロイされたオフライン データ転送 (ODT) ノードを vCloud Connector サーバから登録解除します。
 - a vCloud Connector サーバの管理者 Web コンソール (<https://<vCCServerIPaddress>:5480>) に移動します。
 - b **admin** としてログインします。
デフォルトのパスワードは **vmware** です。
 - c [ノード] タブをクリックします。
 - d ODT ノードの横にある歯車アイコンをクリックし、ポップアップメニューから [登録解除] を選択します。
ODT ノードがサーバから登録解除されます。
 - e サーバの管理者 Web コンソールからログアウトします。
- 5 ODT ノードを登録解除したことを vCloud Hybrid Service オペレータに通知します。

インデックス

0

ODT 5,7

ODT ノード 9

ODT ノードの登録 9

ODT ノードの登録解除 19

え

エクスポート、概要 7

お

オフライン データ転送

エクスポート 12

概要 8

準備 9

オフライン データ転送ノード 9

オフライン データ転送ノードの登録解除 19

オフライン データ転送の確認 19

オフライン データ転送の準備 9

オフライン データ転送プロセス 8

す

ストレージ デバイス、アンマウント 15

ふ

複数のクラウドからのエクスポート 17

